夕刊
磐城新聞
一月二十日發行
（日曜祭日翌日休刊）

お正月（上）

平井勇作

斯う云ふ話があります。

ある子供は大變凧あげが好きで、もう十二月の内からお母さんに買つて貰つて學校から歸ると鞄を投げ出して凧を持ち出します。

『もうちき試驗なのだから少しは復習したりして、凧はお正月ゆつくり揚げなさい』

とお母さんに云はれても少しも耳に入れず、寒い風に手をかぢかませ乍ら凧ばかりいぢつてゐました。そう云ふ風ですからお正月になると猶更です、新らしい糸目の澤山付いてゐる大きな凧を自慢そうにのべつ揚げ通してゐましたので流石おとなしい凧も到々腹を立てて了ひ

『外の凧は時たま使はれる位のものでのんびりとお正月を樂しむと云ふのに、俺は全くやり切れたものぢやあない。どうするか見てゐるがいゝ』

と紙の手足を窮屈そうに延ばし乍ら思案にふけりました。或日非常に風が強く吹きました。

『今日はこんなに風が烈しいしそれにお客樣が澤山お出になるのだから、少し家にゐてお使ひに行つたりして下さいよ』

お母さんが云ひましたけれども相變らず凧をかゝへて表へ飛び出しました。風が強すぎるのでそんなに揚げてゐず、揚つてゐるのは下へとめんくらつて滿足にあがらず糸を卷き納めて歸り仕度をしてゐます。

『いかゞです空中旅行のお積りは？』

『ちえ、ばからしい、こんなに風が強すぎるのでそんなに揚げてゐるのはつまらない』

と紙の手足をグンとのびて上つて糸を引つ張りましたもう糸をすつかり出し切つて糸がもつれてゐるのだから、子供は糸掛みをもりだけれど、此上吹いてゐるつもりだけれど、此上吹いてゐるつもりだけれど、どうするのだらうと風は思ひましたが仲のいゝ友達の云ふ事ではあるし、それに忙がしかつたので默つて凧の云ふ通り袋の口をあけると、まだどん〳〵向ふへ行つてしまひました。

『しめた』

凧は誰はばからず大きな聲でそう云ふとグンとのびて上つて糸を引つ張りましたもう糸をすつかり出し切つて糸がもつれてゐるのだから、子供は糸掛みをもりだけれど、此上吹いてゐるつもりだけれど、此上吹いてゐるつと何時迄も〳〵ついて居て、切角綺麗に仕度した振袖が亂れても構はず白足袋に泥をはねあげ乍ら相手が止てしまふと、又別の仲間へ入つてゆきました。

『新年おめでたうございます』

年始のお客さまが御挨拶に來て歸り際に

『お嬢さんお目出度ふございます』

と丁寧に挨拶をされても知らん顔をして夢中でついてゐます。

『今度は家で歌留多をしない？』

お友達はみな羽根つきをやめて歌留多遊びをしようと誘ひました。けれどその子はかぶりを振つて、日が暮れて次第に薄闇になつて來たのに矢張り獨りでついて居ました。

『どうもいくらおもちやにされるものとは云ひ乍ら斯う朝から晩までつき通しにされてゐてはかなはない、ねえ君、君はどう思ふ——なんとか仕樣ぢやないか』

羽子板の押繪の曾我の五郎が、カチン〳〵とつかれてゐる羽根に云ひました。

羽根はハア〳〵息をはずませ乍ら

『ほんとね、あたしもう一枚の羽根はさつきぬけてしまつたし、もう一枚はこんなにボロになつてしまふしまたあしたも使はれ通しになるのかと思ふとほんとに悲しくて〳〵さつきも獨りで泣いてゐたのよあなたがうかなければ安心だけれど、どう云ふ風にしませうか——あゝそう〳〵』

羽根と曾我の五郎はつき當るたびにコツ〳〵と打合せしました。

『みんな下手だなあ、さあ僕の揚げ工合を見給へ』

と腹の中で得意げに云つて例の大凧をあげました。

『よし、今日こそやつてやるぞ』

凧は意地の惡いほゝゑみを浮べて出來る丈上手に、ひつくり返らない樣に調子をとり乍ら見る〳〵内に空高く昇りました、丁度そこへ風が大きな袋を背負つてれそうになりました。

その次は、羽根をつくのが誠にすきな子がありました。

『あゐくたびれた。少し休みませうよ』

友達がそう云ふと

『弱いわねあんた、あたしなんか幾らついてもちつとも疲れないわ』

と何時迄も〳〵ついて居て、切角綺麗に仕度した振袖が亂れても構はず白足袋に泥をはねあげ乍ら相手が止てしまふと、又別の仲間へ入つてゆきました。

『新年おめでたうございます』

年始のお客さまが御挨拶に來て歸り際に

『お嬢さんお目出度ふございます』

と丁寧に挨拶をされても知らん顔をして夢中でついてゐます。

『今度は家で歌留多をしない？』

お友達はみな羽根つきをやめて歌留多遊びをしようと誘ひました。けれどその子はかぶりを振つて、日が暮れて次第に薄闇になつて來たのに矢張り獨りでついて居ました。

『どうもいくらおもちやにされるものとは云ひ乍ら斯う朝から晩までつき通しにされてゐてはかなはない、ねえ君、君はどう思ふ——なんとか仕樣ぢやないか』

羽子板の押繪の曾我の五郎が、カチン〳〵とつかれ

時代警語

○人事に潮汐あり、その滿潮に乘ずれば幸運に達す……（シエクスピア）

潮が滿ちて來れば砂の上にあつた船が自づと浮ぶ風が吹けば自づと進む。海流の便があればいよいよ進む。古代の人が潮を待ちつゝ風を待つたのは實に機會を待つたのであるが蒸汽を應用するに及び、さる機會を待つを要せぬことになつた……

心持は？右手のずつと向ふに黑く光つて見えるのが海ですよ、この丘を越へたら岬を廻つて海へ出て見ませう』

凧はさも面白そうに獨りで喋り乍ら、ダン〳〵海邊へ近づきました。子供は、もう是からはタコ遊びばかりするのは止そうと思ひましたけれど、今更どうするなるのかと思ふとほんとに悲しくて〳〵さつきも獨りで泣いてゐたのよあなたがうかなければ安心だけれど、どう云ふ風にしませうか——あゝそう〳〵』

羽根と曾我の五郎はつき當るたびにコツ〳〵と打合せしました。

（童謡詩）

ピクニツク

小林すみを

廣い野原は
うすみどり
遠くの枝は
花ざかり

犬はひとりで
じやれてゐて
誰か吹いてゐる
ハーモニカ

お辨當たべてる
兩親の
まわりを子供は
騒けてゐて

雲はないけど
遠がすみ
春の空氣は
のどかだな。

拈華微笑

◇ 澤山でもないが五十門の一齊射擊。大概痛快な筈だ

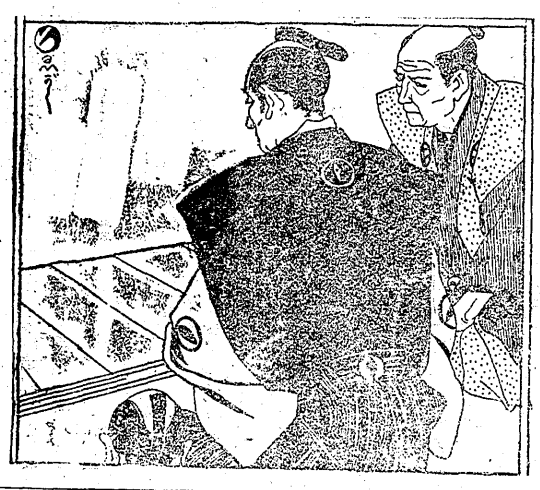
◇ 民衆を蘇らす所以と菊田政友會が現内閣支持。其調子。其調子

◇ 上遠野の内務大臣、舊師走驛頭のナンセンス

◇ つるぎとペンと胸襟を披いて無けりや食へぬが、夫れ持てば手放し時期が苦勞。よくしたものだ

◇ 無いと思ひましたがね、何だか間違ひは在りますまいと思ひましたがね、何ですお家の方におりは御用意でございますか、早速お取逸へたかも知れないが、りが無いと入れて置くにお鼠山の一件は野郎が生て居困りでせうが』長『ハテねる筈がない、是りやア何か妙なことを言ひなさる、おのお駈け引で、そんな事をりとは何んですへ、菓子の言觸らして此の長兵衛を町折や玉子の折なら明いたの奉行の役宅へ呼寄せるのぢが幾つも物置にほふり込んやアないか』と思つたが併である筈だが……』次『冗斯うした機會に奉行所へ出談言つちやアいけません御て、事明白に申立つて終は奉行樣が菓子や玉子を下さふ、呼ばれるのに子分達だるんぢやアない、人間でげつて强いて止めるものではせず、生た人間でそれがお ないからと是れを機會に長兵衛は家主の次郎助と共に我家を立出でました、橋場の喜太郎、川越の萬助を始めとして子分の者は大きに心配し ○『サアどうも大變な事になつた段分の前途を見屆けなくちやア』△『俺も其通りださア行け〳〵』と長兵衛の跡からぞろ〳〵、見え隠れに跟いて行く、餘り大勢が揃つて行くから、往來のものも驚いて眼を見張つて立止まる程でございます、長兵衛は家主次郎助差添へで北の町奉行へ出る、どうなる事かと大勢は門外にガヤ〳〵立盡して樣子を窺つて居ります、暫く待つと長兵衛は白洲へ呼込まれる、正面一段高きところに北町奉行石谷左近將監殿御出座少し退つて目安方公用人、又白洲の前にはつくばいの同心が差控えてゐる、何かなしに頭が下るやうな莊嚴さでございます。

長兵衛は家主が來たと聞いて長『ハテな、是りやア渡し場の喧嘩の一條が、何かむづかしくでも成つたのかな』と思ひ長『お家主さんなら失禮だがと言つて此方へ通つて貰ふやうにしろ！』と差圖した早速次郎助前さん氣遣ひなんで氣が遣つた人間だから止め置いても困る、それで親分のところへ下げる受取りに町奉行同道で出ろと云ふのでございます』長『何だつて、氣違ひ……ハテな夫れは心當りが無いが』次『何だか知らないが、其男はお前さんの子分だそうで、手前は先夜雜司ヶ谷の鼠山、飯綱權現の森の中で人殺しをしたと名乗つて出たところがお上で段々調べて見ると、殺されたと云ふ奴は生きて居兵衛がやつた事で親分を呼ろし、鼠山には人殺しなど出して呉れゝば萬事が判るした樣子が見ない、當人どでも白狀したのぢやア無いかと思つたからでございます 長『あゝ然うですか、夫れは大きに御苦勞だつた其上御迷惑でも一緒に行つ



講談

俠艶 女長兵衛

東京 斯波南夏

（魚崎潮畫）

（一一三）

だが外と違ひ長兵衛のところへ來ては頭が上りません次『親分、少し厄介なことが出來ましてね、北のた町の役所へ一緒に行つて頂かなくてはならない用でね』

北の町奉行と聽いて長兵衛もギクリとした早く名乗つて出ないので大川の三五郎是りやア手酷い責苦に堪まらず、實ア鼠山の時次郎しは自分ではない、親分長兵衛がやつた事で親分を呼出して呉れゝば萬事が判るどでも白狀したのぢやア無いかと思つたからでございます 長『あゝ然うですか、夫れは大きに御苦勞だつた其上御迷惑でも一緒に行つ

國ユニヴアサル通信社、滿洲從軍記者フロイドギボンス

△九、四五 奉天より右講演通譯 外務省囑託川崎寅雄

△一〇、三〇A 家庭講座（謠の道しるべ） 解説…池内信嘉

△正午 A 時報

△後〇、〇五A 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ

△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項

△二、〇〇 運動講座（打毬競技に就て） 太田良作

△三、四〇A 氣象通報

△四、〇〇A ニュース

△五、四五 今晩の番組豫告

△六、〇〇A（子供の時間） ラヂオスケッチ（あひると子供） 矢島清作原作、

恥と風車の會

△六、三〇A 英語講座（中等科） 梅谷與一

△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告

△七、三〇A 講演（滿洲事變に對する國民の後援） 陸軍次官陸軍中將杉山元

△八、〇〇 講談（伊達に咲く花男裝の美女） 第一席 若柳燕嬢

△八、二〇 俚謠 一、越後追分 二、江差追分 三、仙臺馬子唄 四、長持唄 五、納豆節 六、最上くどき節

△八、五〇A 浪花節（橘英夫） 東家樂燕

△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告 積雪量

社會の今日

○ 兒とひたる湯の湯かげんのこころよさ、兒は元氣よく湯をはねとばす 清水信

1月21日（壽永三）△僧日朗寂（元應二）△七錢新郵便切手發行△政友會大會△濱口首相退院△米國映畫王ダグラス再び來朝△大寒の入、裏日本は大吹雪△昭和五年米實收高發表六千六百八十萬石△瀬豫防協會設立（昭和六）

△木曾義仲戰死す

△前七、〇〇A ラヂオ體操

△九、〇〇A 氣象通報

△九、一〇 料理献立（紅燒牛肉）四ッ倉龍男

日用品値段（果物ゐい）

△九、一五 奉天より講演。外國記者從軍感想談 米

ラヂオ

…二十一日〔木曜〕…

仙臺JOHK

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーへ
（デンワ、ミクニ）

夜診
内科 二十指腸虫病
淋病 皮膚病 婦人病
專門
内科 胃腸 性病
外科 一般、婦人科 外科、梅毒、淋疾 皮膚病
專門
松村醫院
（平南町電話一〇七番）
療問

内科、小兒科
外科一般、婦人科
外科、梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨意）
電話一一四番

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油
たひら正家
經節 食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシーへ
三四三番

吉田眼科病院
平町紺屋町

ガス入電球ノ値下ニ
次ニ又値下ニ

十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計眼鏡病院
電話十九番

りん病 永らく病む人の福音
こしけ
天下の名湯別府溫泉で出來た（無効返金責任藥）
商標 岩崎こしけ別府溫泉
發賣元
全國知名新聞雜誌推奬
朝日、東京日日、大阪毎日、富士、講談倶樂部、主婦之友廣告を御參照
右は岩里家古來より家傳秘法樂にして男女血ウミ慢性淋病コシケ消渴の痛みは不思議に止り速服するも絶對胃腸障害なき名藥であります。尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効無き時は殘藥引換に全部異議なく返金します、論より證據服藥した人は皆全快喜んで居られます。
慢性、惡性頑固性の人は七日以上服用して下さい
美本淋病治療書無代進呈（此の新聞名記入申込者に限）代金引換廿三錢手數料前納の事、前金申込者には送料無料送藥す。
藥價……急性用 黑箱 一週分 金三圓
慢性、惡性用 赤箱 一週分 金五圓
平町古銀治町一〇
特約一手販賣 阿康藥舗
縣社の下（電話四四番）

耳鼻咽喉科專門
日本醫大院長醫學士 鈴木正男
齒科 口腔外科
日本齒科科長醫學士 鈴木喜政
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

本社の慰問に對する謝狀一束

滿洲から

五十門の一齊射撃だ 斯んな痛快な事は無い

勿來町出身　稲村倉雄君の

昂々溪附近戰況手記

——日記の一部に二段も〜と始つた、五十門の一三段も紙面を御割愛して下さいまして有り難ふ御座います、頂いた新聞は郷里の母の許へ送つて居ります、母も隨分喜んで居る事と思ひます、貴社の御好意によつて最後に昂々溪附近の戰闘から滿鉄子までの戰闘經過を申上げやうと存じます、現在は奉天に在りて英氣を養ひつつあり。

——時は來た、昭和六年十一月十七日黑龍江軍の全滅を期せる總攻撃の日、犬と豚の多いのが支那の名物の一つだ、それと共に

——犬の不氣味な鳴き聲も——云ふ此の氣味悪い鳴き聲に送られて闇の中に敵陣場への第一歩を踏む。時に五時十分、一里も行くと我が軍の重砲陣地がある、是れに心を強めて尚も前進後衣拉巴から三間房まで三里、銃聲が近いと思つた時は名の知れぬ一部落に入つて居た此の部落から十町も來ると豆をいる時の樣に激しい

——銃聲がそれも眼の前で——高い丘の隱に散兵壕を掘らうとしたが地が凍へて駄目、軍用エンビでは何年かかつても掘れそうもない、顔には汗の流れるのを覺えるが手は凍へる樣に痛む、苦心して居ると前進命令だ、此度は彈が頭上にビュ〜うなる敵前千米、此處は先の地點と地質も違うのか柔かだつたので

——一時間程で——散兵壕が掘れた足が凍らない樣にバタ〜やつて居たが狹い堀の中だからその内に眠つて終う、連日の疲れが出たものと思ふ、野砲の音に眼を醒すと夜が明けて居る、六時二十分どかんと始つた、五十門の一齊射撃だからこんな痛快な事は無い

——タンクの先——足で逃げ出す——生も牛が素——足で逃げ出すかな

——微笑を含ん——で聖なる魂——は昇天する身に重傷を負ひて傷口から流れ出る血潮とその痛みには前進も心の儘ならず悲しい敵の心から近くの戰友を諦めの心から近くの戰友を呼んで殘彈を賴むの聲も細く渡して居る者、頭部を射られて眞赤な血が眼に入りそうになつて居るのに尚君國を念ふ一念から射撃をして居る者

——走り乍ら見た私の眼に——涙が宿つた。君が代を思ふ心の一つだけに我が身ありとも思はざりけり　（未完）

第一線との差僅かに五十メートル敵彈は軍旗めがけて集中する、二百米突も進むと最早戰死者があるヤラレタと是唯一言のみ口元にか

往返進する覺悟に有之候間本年も不相變御鞭撻下され度先は年頭の御挨拶旁々御禮迄如斯に御座候。敬白

磐崎村醸金了る　磐崎村では在滿軍人慰問金及び北海道方面凶作地救濟義捐金を募集中此程終了昨十九日夫々發送した

お互の火の用心に火災無し

平町の火防督勵

平町消防組では今二十日午前十時から各區火防組と協力し平署の應援を得て全町一齊に竈檢査を行つた上自警の標語を記したポスター五千枚を各戸に貼らせた

昨夜住吉屋本店で 筆と劍の懇親會

出席五十七名の盛況

桑名、高木兩書記、唯野稅務署長、本庄刑務支所長、水野元郡長、伏見町長、山田七十七支店長、伊藤警察署長、島田、小野寺、長澤、佐久間、下重各警部補、橋矢田、磯目、佐々木(岩)、佐々木(金)、安藤、佐藤、櫛田持館、十二所、草苅各部長、菅原磐炭所長、濱崎同勞務課長、小島同庶務課長、石橋勞務課員、吉田課員、入山所長、大貫同副所長小山田同人事係長、比告及縣支部幹事長鈴木辰三佐同庶務係主任、下野古郎氏の激勵演說あり大盛會河所長、前松同人事係主任、木田同用地係、河瀨一致の決議により犬養首相東朝、古川時事、渡邊報以下各大臣に祝電を發した知、村上國民、坂本讀賣大島河北、馬目、吉田兩民友、大竹福新、木戸田大内兩いはらき、川崎常磐每日、岡田時報、蓮沼安齋、國井、柏木各磐新以上五十七名、川崎常磐社重各警部補、橋矢田、磯目、佐々木(岩)、佐々木(金)、安藤、佐藤、櫛田持館、十二所、草苅各部長、菅原磐炭所長、濱崎同勞務課長、小島同庶務課員、吉田課員、入山所長、大貫同副所長小山田同人事係長、比告及縣支部幹事長鈴木辰三佐同庶務係主任、下野古郎氏の激勵演說あり大盛會河所長、前松同人事係主任、木田同用地係、河瀨一致の決議により犬養首相東朝、古川時事、渡邊報以下各大臣に祝電を發した知、村上國民、坂本讀賣大島河北、馬目、吉田兩民友、大竹福新、木戸田大内兩いはらき、川崎常磐每日、岡田時報、蓮沼安齋、國井、柏木各磐新以上五十七名、川崎常磐社重各警部補、橋矢田、磯目、佐々木(岩)、佐々木(金)、安藤、佐藤、櫛田持館、十二所、草苅各部長、菅原磐炭所長、濱崎同勞務課長、小島同庶務課員、吉田課員、入山所長、大貫同副所長小山田同人事係長、比告及縣支部幹事長鈴木辰三佐同庶務係主任、下野古郎氏の激勵演說あり大盛會河所長、前松同人事係主任、木田同用地係、河瀨一致の決議により犬養首相東朝、古川時事、渡邊報以下各大臣に祝電を發した知、村上國民、坂本讀賣大島河北、馬目、吉田兩民友、大竹福新、木戸田大内兩いはらき、川崎常磐每日、岡田時報、蓮沼安齋、國井、柏木各磐新

粉骨碎心其職責に 勇往邁進する覺悟

上遠野村出身　松本秀之輔君

——貴社御繁榮の段賀し奉謹賀新年

——貴社御繁榮の段賀し奉候、此の度の滿洲事變に際しては如何に貴社の我々つはもの達の慰安となりたるかは將兵のよく知る所に候、偖義深き新春を陣中に迎へ益々奉公の志を堅固にて粉骨碎身其の職責に向つて勇一線に在るの光榮に浴し最近は亦營口、盤山、小溝都閥祝賀を兼ねた總會は昨十一月十七日黑龍江軍の全滅を期せる總攻撃の日、犬と豚の多いのが支那の名物の一つだ、それと共に

——犬の不氣味な鳴き聲も——云ふ此の氣味悪い鳴き聲に送られて闇の中に敵陣場への第一歩を踏む。時に五時十分、一里も行くと我が軍の重砲陣地がある、是れに心を強めて尚も前進後衣拉巴から三間房まで三里、銃聲が近いと思つた時は名の知れぬ一部落に入つて居た此の部落から十町も來ると豆をいる時の樣に激しい

——銃聲がそれも眼の前で——高い丘の隱に散兵壕を掘らうとしたが地が凍へて駄目、軍用エンビでは何年かかつても掘れそうもない、顔には汗の流れるのを覺えるが手は凍へる樣に痛む、苦心して居ると前進命令だ、此度は彈が頭上にビュ〜うなる敵前千米、此處は先の地點と地質も違うのか柔かだつたので

——一時間程で——散兵壕が掘れた足が凍らない樣にバタ〜やつて居たが狹い堀の中だからその内に眠つて終う、連日の疲れが出たものと思ふ、野砲の音に眼を醒すと夜が明けて居る、六時二十分どかん

民衆を甦らす所以と 現内閣支持を強調す

政友會菊田方部總會盛況裡に了る

會長赤坂毅一、幹事長渡邊義一、會計監督小林襄三郎、縣代議員會川熊次山崎登、方部代議員高木武一郎、渡邊重三郎、支會長（植田）小宮山皆吉（錦）下山田嘉一郎（泉）小林元減（入遠野）樋口幸右衛門（川部）小野魯平（渡邊）永山定秀（上遠野）吉田房吉（田人）綠川義定、常任幹事大平菊次郎外二十名、宣傳部員綠川信夫、押田憲一、櫛田市松、顧問赤坂亀次郎小林減次、安島重三郎、

俵八圓台を突破

政變が齎した米價奔騰

恐らく昨今が最高か

神谷村農會に於ける昨十九日の米穀共同販賣は出荷五百二十二俵等外八十六俵合計百二十二俵で四等標準米八圓三錢で好間村木田市雄、鈴木重行兩氏に落札したが之れを政變前と比較すれば俵當り一圓五十錢高で途に豫測された八圓台を突破したので今後尚ほ高氣配の持續を豫想し農家では何れも持米を手放すまいとしてゐるが年末が迫るに從つて賣に出るため今が最高相場ではないかと觀測してゐる

磐中でも就職斡旋

磐中では最近卒業生の中から實業志望者が非常に增加して來たので就職斡旋の必要を感じ今回志望調を開始したが今週中に取り纒めて夫々適當の方法を攻究する筈であると

何うして生きる？

舊年末の清算期を控へ

山間部農村極度に窮迫

辛じて生活してゐるものもあり如何にして明年の收穫期まで支へるかを憂慮してゐる向が多く村税の如きは殆と納まらぬ狀態であると

百日咳流行る

磐崎で豫防協議

磐崎村では最近百日咳が流

投書歡迎

槍

糞尿無料汲取り問題を評す　（2）

◇農會員諸君、農村の疲弊もさる事乍ら町人だつてのだ、別に奢つてるのではない、實際だ田舍では思ひぬ、だから米箱が空になつない事は何處も同じ秋の夕も依らない一滴の水から野暮だ、全くピンからきり迄あるよ、苦しいのは農民も町民も同じ事だ町の者は收入もあるかも知れないが田舍よりは支出も多い事を考へて貰はねばならぬ

◇殊に借家人借地人を見て貰ひたい、戸を開ければ降つても照つても一日だつて金の出ない日とてはないうし町に買物賣出にも出ら

◇田舍から時折出掛けて來て見た町の表通りと家庭の內情とは全く正反對だ、

◇百姓には一年の總收穫時の秋の刈入れもある、價が高い安いは別としてあるが米俵をうつ高く積重ねた氣持は何とも云へまい、町人にはそれがないせめて一生に一度でもよいからそんな氣持になつて見たいと思ふ事が度々ある、一年に只の一回か二回位のまとまつた肥料代位はありつかしてもらうと思ふ、それも大

◇時折農民が田畑に出て田畑の野菜類に施肥して居るのを見るがその肥料はおそらく人糞尿であつて金肥の硫酸アンモニヤ等は減多に見受けぬ樣だ、それ程大切な無くてはならぬ人糞尿だ種類にもよるが野菜類に無くてはならぬ窒素分はこの人糞尿に多く含まれてゐる事は生徒時代に聞いてゐる（未完）　蛆虫生

した金でないのだから

上遠野村の內務大臣

無賃乘車の精神病者

驛と警察で大氣焰

昨十九日午後七時半頃平驛に下車した無札の男を驛員が調べると同人は威猛高になつて『上遠野の內務大臣が汽車賃を支拂必要がない！』と豪語し驛員に暴行を初めたので其筋へ引渡すと『俺は警察官に取調べられる覺はない裁判所に訴へる！』と怒鳴り續けるので持て餘し目下保護を加へてゐるが右は上遠野村上遠野一（四七）と言ふ精神病者で家人の引取りを待つてゐる

磐中內の紛失物は著しく減少したが中には惡戲氣分から他人の上靴等を使用するものもあるので生徒は自宅へ一々持歸つてゐる有樣である昨年四月以降の件數を見ると四月腕時計、五月二圓三十錢、竹刀、雨傘、六月蛇の目傘二腕時計、七月背嚢、洋傘、蛇ノ目、五圓、九月洋傘、英語教科書、十月蛇ノ目、萬年筆、コンパス、赤鉛筆、十一月金側腕時計、一月五圓で試驗時期には教科書、ナートの紛失が多いと

で村當局では適當の豫防方法を講ずる事となつた

數學教員協議

郡中學校の數學授業參觀並協議は來二十五日双葉中學に於て開催する事になつたが磐中から左の各教諭出席すると

梶原、鈴木、下平、渡邊、矢澤、米澤

風卷校長規察

風卷喜多方中學校長は今二十日磐中の授業を視察した

湯川堤防改修完成

附近一帶水災から救はる

湯本町大字關船地內の湯川工したので昨十九日平土木監督所並に縣枝谷技手が竣工し被害尠なかつたので高功檢査をなした、尚ほ下流橋の架換と併せ工費八千九堤防の改修は七年度事業と百圓を以て客年十月中旬起して續行の筈であると

宣言

我が方部會は萎縮滅亡の深淵に臨み來れる我國民をして生存の大道に蘇らしむべく重大責務の遂行者たる現內閣を支持し其諸政綱を遺憾無く悉くさしめん事を期す

金成通、兒玉萬平、赤津又太郎、安藤尾之吉

數學教員協議

郡中學校の數學授業參觀並協議は來二十五日双葉中學に於て開催する事になつたが磐中から左の各教諭出席すると

梶原、鈴木、下平、渡邊、矢澤、米澤

風卷校長規察

風卷喜多方中學校長は今二十日磐中の授業を視察した

生徒見學

第二生徒見學　平第二小學校の高等科今春卒業生約百名は今二十日午前十時から金澤、玉手兩訓導に引率されて平機關庫を見學した

平町慶弔錄

△出生　鎌田町二猪狩祐政長女タカ子

にあり▲四綠の人　大發展を遂ぐる日起業開店婚談等何れも吉▲五黃の人　堅實に萬事を謀れば進展力益々加はる吉日▲六白の人　終始貫き難き不良の日分限に安ずる外無し▲七赤の人　心急くのみにて何事も捗り難く澁滯多き日▲八白の人　心氣朗らかにして爲す事意の如く行はる日▲九紫の人　先き走る時は思はぬ淵に陷る日急ぐ可らず

生徒見學

第二生徒見學　平第二小學校の高等科今春卒業生約百名は今二十日午前十時から金澤、玉手兩訓導に引率されて平機關庫を見學した

平町慶弔錄

△出生　鎌田町二猪狩祐政長女タカ子

誘拐の疑ひがあるので引續き取調中

△情交見學　岐阜市海津郡今尾町字四谷赤尾榮一（三二）は變態性慾者で他家の夫婦の寢室を覗き歩いては悅に入つてゐる男だが此程同町武內又一方へ忍び入りつつ夫婦就寢中のエロ模樣を見てヘラ〜と笑つてゐるの

△茶番の刄　東京市本郷區駒返神明町交番へ髮を振びしくせつ盜前科四犯を重ねた石山金藏（三五）スリ前犯番地高島易斷總本部神誠館

△犯罪三角　東京府下南轉車で草津町の自宅に歸る千住町一七池原もと（四〇）は途中矢倉踏切りに於てルンペン風の男に脅迫され現金

△凌辱？否？　滋賀縣粟田郡老上村小學校訓導田中かほる（三五）が午後七時頃自宅で草津町の自宅に歸る

△エロ女給　京都七條署員が下京區東洞院七條下る宿や吉野館を臨檢すると二組の若夫婦が投宿して居り暴動不審なので取調べると男は成瀨清（三六）立見勘彌（三五）で大阪GMの失業者女は

各地情痴
スーエー

投書歡迎

槍

糞尿無料汲取り問題を評す　（2）

◇農會員諸君、農村の疲弊もさる事乍ら町人だつてのだ、別に奢つてるのではない、實際だ田舍では思ひぬ、だから米箱が空になつない事は何處も同じ秋の夕も依らない一滴の水から野暮だ、全くピンからきり迄あるよ、苦しいのは農民も町民も同じ事だ町の者は收入もあるかも知れないが田舍よりは支出も多い事を考へて貰はねばならぬ

◇殊に借家人借地人を見て貰ひたい、戸を開ければ降つても照つても一日だつて金の出ない日とてはないうし町に買物賣出にも出ら

◇田舍から時折出掛けて來て見た町の表通りと家庭の內情とは全く正反對だ、

◇百姓には一年の總收穫時の秋の刈入れもある、價が高い安いは別としてあるが米俵をうつ高く積重ねた氣持は何とも云へまい、町人にはそれがないせめて一生に一度でもよいからそんな氣持になつて見たいと思ふ事が度々ある、一年に只の一回か二回位のまとまつた肥料代位はありつかしてもらうと思ふ、それも大

◇時折農民が田畑に出て田畑の野菜類に施肥して居るのを見るがその肥料はおそらく人糞尿であつて金肥の硫酸アンモニヤ等は減多に見受けぬ樣だ、それ程大切な無くてはならぬ人糞尿だ種類にもよるが野菜類に無くてはならぬ窒素分はこの人糞尿に多く含まれてゐる事は生徒時代に聞いてゐる（未完）　蛆虫生

した金でないのだから

上遠野村の內務大臣

無賃乘車の精神病者

驛と警察で大氣焰

昨十九日午後七時半頃平驛に下車した無札の男を驛員が調べると同人は威猛高になつて『上遠野の內務大臣が汽車賃を支拂必要がない！』と豪語し驛員に暴行を初めたので其筋へ引渡すと『俺は警察官に取調べられる覺はない裁判所に訴へる！』と怒鳴り續けるので持て餘し目下保護を加へてゐるが右は上遠野村上遠野一（四七）と言ふ精神病者で家人の引取りを待つてゐる

磐中內の紛失物は著しく減少したが中には惡戲氣分から他人の上靴等を使用するものもあるので生徒は自宅へ一々持歸つてゐる有樣である昨年四月以降の件數を見ると四月腕時計、五月二圓三十錢、竹刀、雨傘、六月蛇の目傘二腕時計、七月背嚢、洋傘、蛇ノ目、五圓、九月洋傘、英語教科書、十月蛇ノ目、萬年筆、コンパス、赤鉛筆、十一月金側腕時計、一月五圓で試驗時期には教科書、ナートの紛失が多いと

で村當局では適當の豫防方法を講ずる事となつた

數學教員協議

郡中學校の數學授業參觀並協議は來二十五日双葉中學に於て開催する事になつたが磐中から左の各教諭出席すると

梶原、鈴木、下平、渡邊、矢澤、米澤

風卷校長規察

風卷喜多方中學校長は今二十日磐中の授業を視察した

生徒見學

第二生徒見學　平第二小學校の高等科今春卒業生約百名は今二十日午前十時から金澤、玉手兩訓導に引率されて平機關庫を見學した

平町慶弔錄

△出生　鎌田町二猪狩祐政長女タカ子

にあり▲四綠の人　大發展を遂ぐる日起業開店婚談等何れも吉▲五黃の人　堅實に萬事を謀れば進展力益々加はる吉日▲六白の人　終始貫き難き不良の日分限に安ずる外無し▲七赤の人　心急くのみにて何事も捗り難く澁滯多き日▲八白の人　心氣朗らかにして爲す事意の如く行はる日▲九紫の人　先き走る時は思はぬ淵に陷る日急ぐ可らず

誘拐の疑ひがあるので引續き取調中

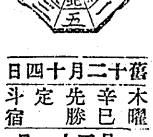
△情交見學　岐阜市海津郡今尾町字四谷赤尾榮一（三二）は變態性慾者で他家の夫婦の寢室を覗き歩いては悅に入つてゐる男だが此程同町武內又一方へ忍び入りつつ木谷が強制的に關係をしめん事を期す夫婦就寢中のエロ模樣を見てヘラ〜と笑つてゐるの

△茶番の刄　東京市本郷區駒返神明町交番へ髮を振びしくせつ盜前科四犯を重ねた石山金藏（三五）スリ前犯番地高島易斷總本部神誠館

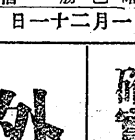
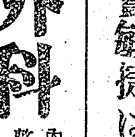
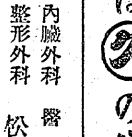
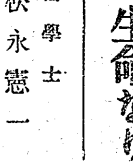
△犯罪三角　東京府下南轉車で草津町の自宅に歸る千住町一七池原もと（四〇）は途中矢倉踏切りに於てルンペン風の男に脅迫され現金

△凌辱？否？　滋賀縣粟田郡老上村小學校訓導田中かほる（三五）が午後七時頃自宅で草津町の自宅に歸る

△エロ女給　京都七條署員が下京區東洞院七條下る宿や吉野館を臨檢すると二組の若夫婦が投宿して居り暴動不審なので取調べると男は成瀨清（三六）立見勘彌（三五）で大阪GMの失業者女は



黑川いよ（三〇）と判明したが



カフェー志摩子二階から發てとび込み『今夫に殺され十六犯』藤太郎（六七）の兩名